

第5回 東アジア U-22 ハンドボール選手権 試合結果・戦評報告書

競技日	6月28日(水)	試合番号	W4		
種別	女子	会場	花巻市総合体育館		
Aチーム名			Bチーム名		
中国			日本		
得点合計	小計		小計	得点合計	
25	11	前半	12	23	
	14	後半	11		

戦評

ともに初戦を快勝した中国(CHN)と日本(JPN)の第2戦は、CHNのスローオフで試合開始。開始早々CHNは⑦MuのパワフルなポストプレーからJPNの反則を誘い、⑩Tianの7mスローで先制する。対するJPNも⑳大松澤を起点とした鋭いカットインから得点を重ね、㉔吉留、㉖相澤の速攻連取で16分逆転に成功。その後も双方果敢にゴールを狙うが、両キーパーの好セーブも光り、膠着状態のまま前半を折り返す。

後半、㉒Linのステップシュートを端緒としてCHNペースで試合が進む。JPNは8分㉘並木が2分間退場するなど攻守ともに精彩を欠き、連係ミスに苦しむ展開が続く。後半18分、CHNが痛恨の交代ミス。JPNは数の優位を活かし、相手DFの隙を突くフェイントからの得点で徐々ににじり寄る。しかし、この日12得点の㉒Linの勢いは止まらず、JPNは終盤7人攻撃を試みるも不発。CHNが僅差のゲームを競り勝った。

